

ナナムイビト

住まいは、生き方
地球生活マガジン

2010 NOVEMBER 63号
隔月刊

ベジタブル・ ガーデニング

菜園をデザインする

ナナムイビトの暮らし
東京・借家に手を入れ、
ギャラリー・カフェに

格式張った「男性の庭」から
楽しみ暮らす「女性の庭」へ

変わる庭への要求を、デザインする作庭家

全国・作庭家リスト付き

農体験で子どもの知的体力を育む 汐見稔幸

山形・新“金山型住宅”にチャレンジする若者たち

定価 980 円

会員社が建てた家 & 工務店 ニュース

チルチンびと

「地域主義工務店」の会



写真・川辺明伸 設計、施工・高陽建設㈱

住まいは、本来それぞれの地域の風土に深くかかわりながら、

長い時間の流れのなかでつくられてきた文化の「かたち」です。

一方、現代生活における

さまざまな変化に即した

「新しい住まいの「かたち」をも

求めなければなりません。

「明日への新しい住まい」をめざす時、

技術的な向上はもちろんのこと、

環境問題などに対する視野をひろげる努力を

積極的に行っていく必要があります。

ここに紹介する

『チルチンびと』『地域主義工務店』の会』とは、

『チルチンびと』が提唱する

「地域に根ざす木の家づくり」を通して

地域循環型社会に貢献する工務店の組織です。

その基本的な考えは、

産地の明らかな素材で、

設計者、工務店、大工、職人の顔が見える、

安全で良質な木の家づくりの実現です。

これは、地域に根ざした

住文化の新たな創造なのです。

「本物の木の家」を建てたいと願っている

生活者と地域主義工務店が結びつき、

協力しあっていく道をめざします。

千葉県・(株)どんぐりの家イニシア(株)グッドリビング

裸足で暮らす家

キッチンを中心に

家族をつなげて



ダイニング・キッチン



ダイニング・キッチン

和室

ダイニング・キッチン/吹き抜けで2階とつながる。奥のキッチンは床が一段低く、向かい合う位置に和室がある。和室/ふだんは開け放って子どもたちが走り回る。

DATA

- 所在地 千葉県野田市 *延床面積 115.10㎡ (1階64.59㎡ 2階50.51㎡)
- *竣工 2010年7月 *構造形式 木造軸組工法
- *主な外部仕上げ 屋根/ガルバリウム鋼板 外壁/漆喰
- *主な内部仕上げ 天井/珪藻土、檜 壁/珪藻土、杉 床/アカマツ

当社は平成4年に創業し、当初は野田本店・流山支店を拠点に東葛エリア(千葉県北西部)で住宅を手がけてきました。この数年は、東京都・埼玉県・茨城県にもエリアを広げています。登録商標の自然素材住宅「どんぐりの家」のモデルハウスを2カ所に設け、お客さまにその空間を体感し、家づくりへの取り組みを理解していただいています。

生産者の顔が見える木の家づくりを心がけ、構造材・断熱材の生産現場を社内研修で見学。構造材は、産地ごとの特徴・乾燥方法・価格などをお客さまに説明し、選択いただいています。デコスドライ工法によるセルロースファイバーの断熱材は、産地が行政ぐるみでリサイクルに取り組んだ古紙を材料とし、無結露を20年間保証しているものを採用。また、塗り壁材(珪藻土・漆喰)は自分たちで実験を重ね、成分・施工性・価格・補修について検討しています。

設計では、吹き抜け、勾配天井、ロフトを積極的に採用し、同等の延床面積である一般的な住宅の約1.5倍の容積を実現。同時に、家族が互いの気配を感じられる、家族をつなげる家づくりを方針にしています。

自然素材の調湿機能で夏も涼しく

写真の家の建て主は、1年中裸足で生活でき、子どもたちが健康に育つ、無垢材の家を望んでいました。そこで、床はアカマツの無垢板を使い、蜜蝋ワックス仕上げに。また、セルロースファイバーで家全体を包み、珪藻土の壁と無垢材との3点セットで調湿機能を高めています。

家の中心は見晴らしのよいキッチンです。料理が大好きな奥さまのために、大きなダイニングテーブルと一体化した作業台を設置。キッチンに立ったときに、ダイニングの子どもたちと視線が近づくよう、キッチンの床を15センチほど下げたのがポイントです。

竣工後に訪ねると、お子さんは家中を走り回り、ご夫妻からは、「初めての夏をとて涼しく過ごしている」との感想をいただきました。



外観

外壁の漆喰には、メンテナンスのしやすいタイプを選択。